若葉台の講演会　アンケート　　　2013.6.16

**若葉台の話について思うこと**

・1年間でこれだけの活動をスタートさせ、実行できたことは、大あっぱれです。

・男性の参加が多く驚いた。2つの原則だけで本当にできるのか。市への働きかけ、市からの援助の実態は？

・今まで将来に対して不安はありましたが、現在おかげさまで、自分で何とかできていますので、あまり関心がありませんでした。しかし昨年より一人暮らしとなり、何かと困ることも出てきました。本心では福祉関係に関わりたくないと言う気持ちがあったかもしれません。本当に今日のお話をお聞きし、私も自分のできることがあれば、できる時に少しでも参加して行きたいと思いました。

・防災担当の説明で、家の耐震検査と家具転倒の検査をすると各家庭の防災意識が高まると思いました。

・松が丘・つつじが丘の課題分析し、若葉台の取り組みを参考に課題解決ができるとよい。

・対等の原則は長くやって行くためには必要だと思う。高齢者の立場になるといいと思うことがいっぱいあると思う。

・自治会より社協・ボランティアが中心となってやっていくといいと思った。

・買い物など住民が気軽に利用するサービスを行えるとよい。

・対等の原則　任意参加の原則

・各種団体の連合会を作り、事業を自治会より丸投げ委託で継続性がある。

・毎年役員が変わる自治会でなく、別組織で、自治会からの応援で福祉を充実させるのが良いとしっかり分かった。

・お話をしてくださった若葉台の人たちの生き生きした姿に、ボランティアすることのメリットをすごく感じた。「できる時にできることだけをやればいい」大賛成です。一部のボランティアに頼り過ぎのつつじが丘ですので、広く浅くの精神を広げていってほしい。

・若葉台は補助金をもらい気合いが入っているが、今後どうなるかと思う。

継続させるために必要なことは、コンパクトしなければいけないと思う。

・すごく感銘を受けた。私にできることを少しずつやっていけたらと思う。

毎年変わることがないので、とてもいいシステムと思う。福祉のことは特に取り入れる必要がある。

男性の力は大きい。一つでも良いので、自分のできる範囲でいいと言う考え方は、本当にその通りだと思う。

・男性の参加が多く、幅広く活動しているところがすばらしい。

・地域の情報が自治会長に集中している現状では、非常時に情報が有効に活用される可能性がほとんどないと考える。したがって地域の防災活動はどうしても形骸化してしまうのでは？

・対等・任意の参加の原則　素晴らしい

・「アッシー君」で楽な買い物ばかりしていたら、足腰が弱ると思っていたら、週2階のウオーキングでしっかり筋力アップも考えてあり、たくさんの支援の機会があり、良い仕組みだと思います。

・４０％近い高齢化率で、短期間のうちにたくさんのことをやっておられるのにはびっくりしました。素晴らしい団結力ですね。

・若葉台の方たち、本当に人のために尽くそうとされて有徳の方々に感心し、頭の下がる思いとともに、私も何かこれから一歩ふみだし、参加して行きたいと思いました。ありがとうございました。

・大変有意義な講演会で良かった。このまちも、福祉委員、近隣ケアグループ他がかなり勧めているようですが、一住民として中身がほとんど分からない。地域住民のミュニケーションを図るために、好きな人が集まるボランティア作りが必要かと思われる。

・平等の精神

・条件の同じような住宅地の話、大変参考になったが、具体的に何を取り入れて良いのか今の状態では分からない。

・大変参考になった。ぜひこの団地でもお互いに自分たちのできることから無理のないようにやっていきたい。

・男の人たちが非常に活動的でいい。

・自分でできるボランティアをやることの大切さを痛感した。たくさんの人の力は大きく、実を結ぶことがとても素晴らしい。

・もっと若い人のボランティアがふえるといい。

・まずは元気な年寄りが、福祉・ボランティアに参加することだと思う。

・８０歳の会長さんが、とても分かりやすくお話しいただけ良かった。福祉と防災の大切さに気づいた。

・一番心に残ったこと：対等の原則・任意参加の原則

カタカナ用語が多く意味が分かりにくい。任意参加の原則・・・やれる人は一つでもよい。

防災：炊き出し勉強会はつつじもやっている。

・住民の合意形成にたっぷりと時間をかけたこと。対等の原則　任意参加の原則

・すごく感銘を受けた。「いつやるの。今でしょ」を実施したい。

・阪神大震災の講演を生々しく聞きたい。

「可児のやっていることは、素晴らしい。うらやましいな。」と言っているのでなく、私たちも小さなことからコツコツと実施していくことだ。

可児の実施したことを、八木山校区に組み入れようと思ったら、自治会長等のリーダーシップで、オレについて来いと言うくらいでないとできない。

また、現状では、各種団体の垣根が大きいように思う。この壁を打破することも必要だが、すぐには難しい。自治会は、一年こっきりなので、その年の義務を果たして、やれやれと言うので、次年度には行事にも参加しない人もいる。福祉に関わる人が続けてやっていく方法を見つけないといけない。可児のように、自治会と別組織がいい。

老老介護と言うが、切実だ。「1年後に実施しましょう」ではだめ。「いつやるの？今でしょ」って、若葉台の人は何度も言っていたけれど。すぐに取り組む。そして振り返ったら誰もついていなかったと言うことがあるかも入れないが、まずやることだって、思うね。

**このまちに取り入れたいこと**

高齢者への危機感を感じ、率先してモデル地域を取り入れたりすることは見習わないといけない

コーディネーターの指導、サポーターの意義、無理しないでできるお手伝いをする、ささえあいセンターの設置、80人のボランティア、買い物サポート、買い出しの車出し、通院のサポート

・まずセンター的なものを作りボランティアを募るとよい。

・買い物バスをボランティアで運営できるとよい。

・住民の意識状況・要望を把握して、計画と要望に隔たりがないように。

・自治会とのタイアップ

・自治会がいろんな活動を、全面的に応援すること。近隣ケア活動もしかり。

・ぜひこの団地でも、お互いに自分のたちのできるところから無理のないようにやっていきたい。

・私たちのまちも、福祉関係の団体の活動の一本化ができたらよい。

・若葉台の人たちが活動したバックには、地域の理解と協力があったと思われる。八木山校区もボランティアする人たちをみんなでバックアップしたい。

・若葉台を参考に、八木山校区高齢者福祉協議会を作るとよい。

気軽に参加できるふれあい事業があるとよい。

・各丁目ごとにバスで出かけるとか、集まると、近所の絆ができると思う。

**このまちにあったら良いと思う仕組み**

健康器具の設置　１　　お買いものツアー　１　　映画の上映会　２

有料昼食　　３　　ワンコインサービス４６

　草取り　買い物　通院　簡単な家事　箪笥などの移動　電球取り換え

寄り集まれる場所　２２　　シニア１１９　　３１

一人暮らしの場合、台風・地震時のため、防犯のため

緊急時用のブザーの取り付け　１

緊急時の見守　１７

緊急時に相談できる窓口　２　　出入り業者との連携での見守り　１９

コミュニティーバスの増発　　８　　このまちを回るバス　アッシー君　２５

電車・バスの無料パスの配布　１　　老人施設　８

市の広報が聞きとれるようにしてほしい　２　　救急車のたらいまわしの皆無　１

若い人向け　おもちゃの修理・　自転車の修理　入学式・七五三等の着つけ　１

一人親家庭の緊急時の支援　子どもの世話など　２

作ってランチ会　１　　里山バーベキュー　年2回ほど　２　若い人が参加する仕組み　１

放課後子どもサロン　３　　子育て中のお母さんを支える活動　２

**支え合うまちにするためにこうあったら良いと思うこと**

常日頃からボランティア参加や住民同士のお仲間作りの啓もう

何かをしましょう！！人を動かし、人に伝えることに努力しましょう

街角プランター　高齢者はあまり外に出に合いので、近くのみんなと花を育てる、水やり、花を見に外へ出てくるのでは？花は市で年2回支給があるようです。

ボランティアと言うより、町内での話し合いの場をもって、互いに日々の暮らし方などを話し合うことも大事だと思う。

病院へ行く回数が多くなるので、その足の確保を案じている。

チョイボラとして自分ができることを出してもらう

もっと住民がボランティアに参加できるように、今回のような講演会を皆が聞き、自分もやってみようかと思えるようにしたい。

若葉台の防災活動を参考にしての取り組みの強化、充実

うまく行かなくてもいいから始めようと言う話から。事業内容は、今出ていないこともやれたらと思う。

独居老人宅に一日に1回は電話がかかる仕組み。あるいは誰からかは声がかかるしくみ。

ネットワーク組織作り　支援ヤッター

住民の健康長寿の引き上げ＝少子化対策

　支え合う人→健康長寿を目指し74歳まではやっていただく

　支えてもらう人→健康長寿で健康時間を延ばし、より多くの時間・期間を楽しんでいただく

まず自分の住んでいる地域や住民の意識の確認。自治会全体で考えて意見交換できると良い。

ささえあうまちにしたい。其の仕組みづくりは大変な作業だと思うが、自治会が推進力になることを願う。

まずは、今日の話で心動かされたことを、不参加の人に伝えたい。

近所力を高めるために、改めて今日のような会を発展させてほしい。

今ある許可団体を一本化するとよい。

高齢者とのふれあいとして、例えば、着付け、お茶お花、編み物　料理　等現役先生ではない人の講師により不定期に行う。男性ではおもちゃの修理、自転車の修理など。

**今やっているボランティアの他にボランティアをやってもよいか**

はい：３５　　　いいえ：７

やるとしたらどんなことを？

ゴミ出し・買い物の手伝い・自分のできる趣味を教えて楽しい時間を作る・できる範囲内で・

高齢者や子育て中の母親との会話・相談・仲間作り

車での送迎

高齢者のための簡単な散髪

買い物、簡単な家事　まず月1回程度で

自分ができることならなんでも

ゴミ収集　掃除　買い物

時間を別に作ることは難しいので、自分のことと一緒にできること、例えば買い物など。

公園のゴミ拾い　草取り　側溝の掃除等

なんでも相談窓口

朝一ボランティア

今何かは分からないが必要があったらそれを見て行う

話し相手、買い物

会話など

一人暮らしの方の買い物

簡単な家事　草取りなど

具体的に何ができるか疑問だが、自分でできそうなことだったら参加する。

自由に寄り集まるカフェ

要約筆記は必要か。